

信濃川の洪水予報の範囲が拡大 ～ 洪水時の防災情報が充実 ～

1月31日より、これまでの信濃川中流洪水予報指定区間（小千谷市～大河津分水路河口まで）に加え、新たに信濃川（十日町市～小千谷市）及び魚野川（南魚沼市～川口町）の洪水予報を実施し、より詳細な防災情報を提供します。

< 新たな洪水予報指定区間 > 【別紙 - 1 参照】

信濃川中流洪水予報指定区間

大河津分水路河口から十日町市の宮中堰堤まで（延長85.6km）

魚野川洪水予報指定区間

川口町の信濃川合流点から南魚沼市の八海橋まで（延長27.9km）

この洪水予報は、国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所と気象庁新潟地方気象台が共同して実施するもので、洪水時において洪水から地域を守る水防活動や、住民の避難行動の目安に必要な情報として発表されます。【別紙 - 2・3 参照】

なお、洪水予報で発表される「洪水警報」や「洪水注意報」等の名称は、災害の状況や危険度がイメージできないという意見があることから、防災情報の受け手である住民や市町村の防災担当者、報道機関等に正確に理解され、的確な判断や行動につながるよう、現在洪水時の防災情報体系について見直しを行っているところです。今後、平成19年度出水期を目処に洪水予報文の変更を行い、よりわかりやすい防災情報を提供します。

取扱い

本資料の発表をもって解禁とする。

指定範囲は、1月31日付け官報告示文を基に作成していますので、詳細な指定範囲については、官報告示文を参照下さい。

同時記者発表クラブ

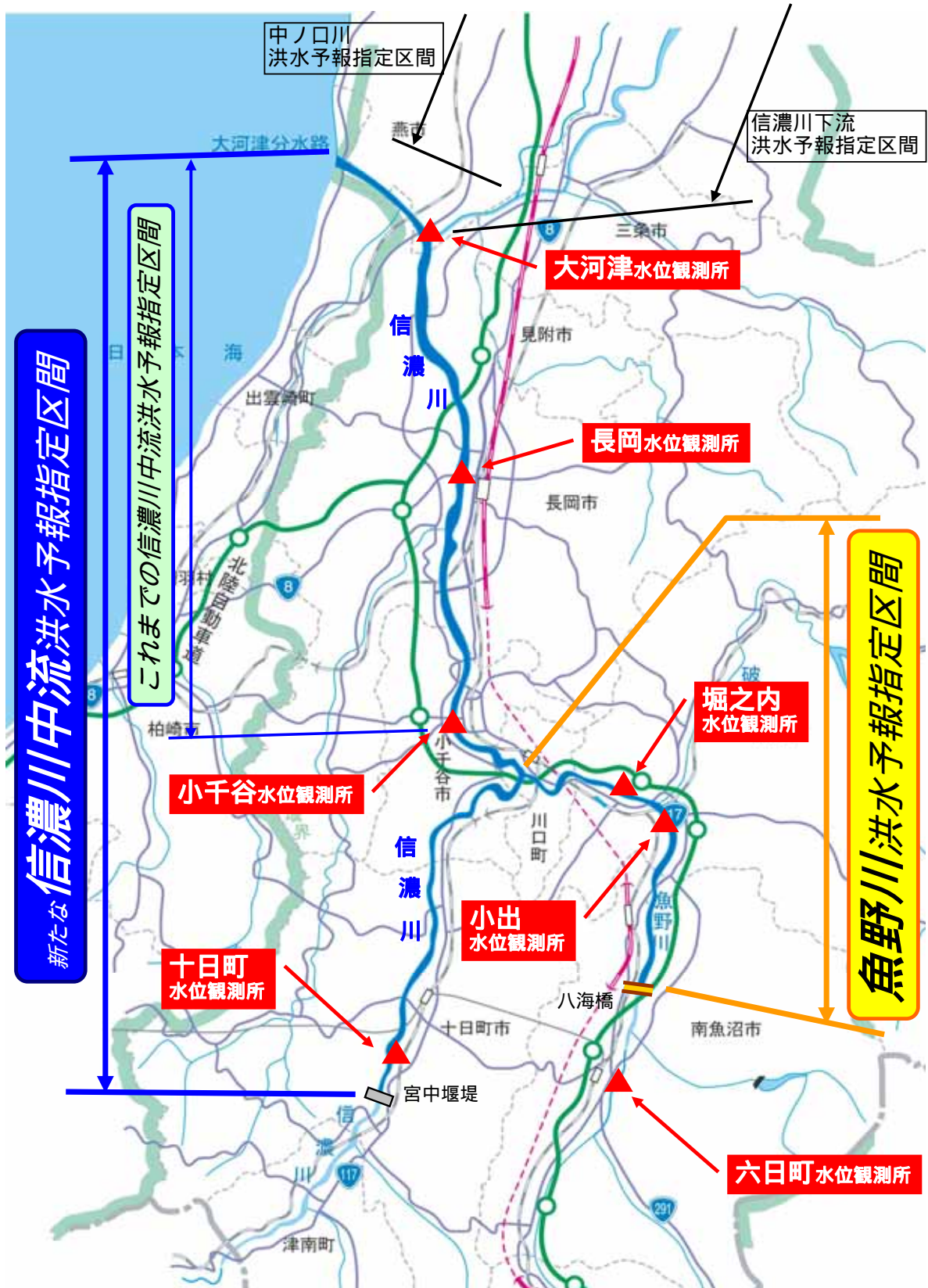
新潟県政記者クラブ
長岡市政記者会
週刊記者会

【問い合わせ先】

北陸地方整備局 信濃川河川事務所
副所長（技術） 杉本 利英（電話）0258-32-3020
調査第一課長 山本 悟司（電話）0258-32-3243

気象庁 新潟地方気象台 防災業務課
水害対策気象官 松田 薫（電話）025-244-1703

信濃川中流及び魚野川洪水予報指定区間



信濃川中流洪水予報文例

信濃川中流洪水予報第 号

国土交通省信濃川河川事務所 新潟地方気象台 共同発表
平成 年 月 日 時 分

1 信濃川中流洪水警報発表

(主文)

2 信濃川中流洪水注意報を警報に切替えます。

3 信濃川中流の十日町市新宮乙・十日町水位観測所では、
危険水位を越える出水となる見込みですので、各地とも厳重な警戒をして下さい

(現況文)

8 台風 号の通過による大雨により、

9 降り始めの

10-1 日 時から 日 時までの の流域平均雨量は ミリ

10-5 に達しました。

11 また、所により1時間に ミリの雨が降っています。

14 信濃川中流の水位は、 日 時現在、次のとおりとなっています。

(1) 十日町水位観測所〔十日町市新宮乙〕で . m(上昇中)

(2) 小千谷水位観測所〔小千谷市元町〕で . m(上昇中)

(3) 長岡水位観測所〔長岡市信濃1丁目〕で . m(上昇中)

(4) 大河津水位観測所〔燕市大川津〕で . m(上昇中)

現在の河川の水位や
降雨の状況をお知らせ
します。

(予想文)

16 この雨は今後一層強まるでしょう。

17-1 日 時から 日 時までの 流域の流域平均雨量は ミリ

17-5 の見込みです。

19 信濃川中流の水位は、 日 時には、次のように見込まれます。

(1) 十日町水位観測所〔十日町市新宮乙〕で . m程度

(2) 小千谷水位観測所〔小千谷市元町〕で . m程度

(3) 長岡水位観測所〔長岡市信濃1丁目〕で . m程度

(4) 大河津水位観測所〔燕市大川津〕で . m程度

20 このため、 市 から 市 間においては、はん濫の恐れのある水位(危険水位)に到達することが見込まれます。

今後の河川の水位や
降雨の予想をお知らせ
します。

(注意事項)

22 洪水警報は、避難勧告等の目安のひとつとなる情報ですので、市町村長が発する避難情報に注意するとともに、周囲の状況の確認や避難準備をお願いします。

23 今回の出水は平成 年 月の台風第 号を上回る規模と見込まれます。

〔参考資料〕

十日町水位観測所

(受け持ち区間：左岸 十日町市宮中堰堤から川口町西川口地先、右岸 十日町市宮中堰堤から川口町西川口地先 <宮中堰堤から魚野川合流点>)

危険水位換算水位(1)144.90m(右岸 小千谷市川井地先での危険水位にほぼ相当)

警戒水位142.50m 平常水位137.99m

小千谷水位観測所

(受け持ち区間：左岸 川口町西川口地先から長岡市浦地先、右岸 川口町西川口地先から長岡市浦地先 <魚野川合流点から越路橋>)

危険水位換算水位(1)48.00m(右岸 小千谷市元中子地先での危険水位にほぼ相当)

警戒水位46.50m 平常水位42.29m

長岡水位観測所

(受け持ち区間：左岸 長岡市浦地先から長岡市与板町本与板地先、右岸 長岡市浦地先から長岡市並木新田地先 <越路橋から与板橋>)

危険水位換算水位(1)23.80m(左岸 長岡市与板町本与板地先 及び 右岸 長岡市並木新田地先での危険水位にほぼ相当)

警戒水位 20.00m 平常水位 16.51m

大河津水位観測所

(受け持ち区間：左岸 長岡市与板町本与板地先から長岡市寺泊野積地先、右岸 長岡市並木新田地先から長岡市寺泊野積地先 <与板橋から大河津分水路河口>)

危険水位換算水位(1)15.90m(大河津分水路 左岸 燕市真木山地先での危険水位にほぼ相当)

警戒水位 13.40m 平常水位 11.71m

信濃川水系の洪水予報発表状況		
警・注意報別	信濃川中流	魚野川
洪水警報発表中		
洪水注意報発表中		

〔問い合わせ先〕

水位関係：信濃川河川事務所 調査第一課 TEL 0258-32-3243

気象関係：新潟地方気象台 観測予報課 TEL 025-244-1705

魚野川洪水予報文例

魚野川洪水予報第 号

国土交通省信濃川河川事務所 新潟地方気象台 共同発表
平成 年 月 日 時 分

1 魚野川洪水警報発表
(主文)

- 2 魚野川洪水注意報を警報に切替えます。
3 魚野川の魚沼市青島の小出水位観測所では、
危険水位を越える出水となる見込みですので、各地とも厳重な警戒をして下さい

(現況文)

- 8 台風 号の通過による大雨により、
9 降り始めの
10-1 日 時から 日 時までの、 の流域平均雨量は ミリ
10-5 に達しました。
11 また、所により1時間に ミリの雨が降っています。
14 魚野川の水位は、 日 時現在、次のとおりとなっています。
(1) 六日町水位観測所〔南魚沼市坂戸〕で . m(上昇中)
(2) 小出水位観測所〔魚沼市青島〕で . m(上昇中)
(3) 堀之内水位観測所〔魚沼市堀之内〕で . m(上昇中)

**現在の河川の水位や
降雨の状況をお知らせ
します。**

(予想文)

- 16 この雨は今後一層強まるでしょう。
17-1 日 時から 日 時までの の流域平均雨量は ミリ
17-5 の見込みです。
19 魚野川の水位は、 日 時には、次のように見込まれます。
(1) 六日町水位観測所〔南魚沼市坂戸〕で . m程度
(2) 小出水位観測所〔魚沼市青島〕で . m程度
(3) 堀之内水位観測所〔魚沼市堀之内〕で . m程度
20 このため、 市 から 市 間においては、はん濫の恐れのある水位(危険水位)に到達することが見込まれます。

**今後の河川の水位や
降雨の予想をお知らせ
します。**

(注意事項)

- 22 洪水警報は、避難勧告等の目安のひとつとなる情報ですので、市町村長が発する避難情報に注意するとともに、周囲の状況の確認や避難準備をお願いします。
23 今回の出水は平成 年 月の台風第 号を上回る規模と見込まれます。

〔参考資料〕

六日町水位観測所

(受け持ち区間: 左岸 南魚沼市五日町地先から南魚沼市五箇地先、右岸南魚沼市麓地先から魚沼市岡新田地先 <八海橋から水無川合流点>)
危険水位換算水位(1)160.90m(右岸 南魚沼市水尾新田地先での危険水位にほぼ相当)
警戒水位 160.50m 平常水位 158.26m

小出水位観測所

(受け持ち区間: 左岸 南魚沼市五箇地先から魚沼市四日町地先、右岸 魚沼市岡新田地先から魚沼市四日町地先 <水無川合流点から破間川合流点>)
危険水位換算水位(1)92.10m(右岸 魚沼市岡新田地先での危険水位にほぼ相当)
警戒水位 90.00m 平常水位 88.93m

堀之内水位観測所

(受け持ち区間: 左岸 魚沼市四日町地先から信濃川合流点、右岸 魚沼市四日町地先から信濃川合流点 <破間川合流点から信濃川合流点>)
危険水位換算水位(1)84.10m(右岸 魚沼市村前地先での危険水位にほぼ相当)
警戒水位 82.50m 平常水位 80.33m

信濃川水系の洪水予報発表状況		
警・注意報別	信濃川中流	魚野川
洪水警報発表中		
洪水注意報発表中		

〔問い合わせ先〕

水位関係: 信濃川河川事務所 調査第一課 TEL 0258-32-3243
気象関係: 新潟地方気象台 観測予報課 TEL 025-244-1705

参考資料

洪水予報とは？

洪水予報は、水防法第10条第2項及び気象業務法第14条の2第2項の規定に基づき実施されるもので、二以上の都府県にわたる河川や流域面積が大きい河川で、洪水により国民経済上重大な損害が生じる恐れのある河川が指定されます。

新潟県内では、これまで信濃川・阿賀野川・荒川・関川・姫川・中ノ口川が指定されています。

信濃川の洪水予報は、昭和30年より大河津分水路河口から小千谷市までを信濃川中流洪水予報指定区間として実施してきました。この範囲の拡大により、信濃川河川事務所で管理する区間全てで洪水予報が実施されます。

どのような時に洪水予報が発表されるのか？

洪水予報は、基準となる水位観測所ではん濫注意水位（警戒水位）を超え、さらに上昇する恐れがある場合に「洪水注意報（はん濫注意情報）」として発表されます。

さらに水位が上昇し、はん濫危険水位（危険水位）を超える洪水となる恐れがある場合に「洪水警報（はん濫警戒情報）」として発表されます。

洪水予報で発表される内容は？

洪水予報では、現在の河川の水位や降雨の状況、今後の河川の水位や降雨の予想、注意事項等が発表されます。【別紙 - 2・3 参照】

洪水予報はどのように伝達されるのか？

洪水予報は、信濃川河川事務所と新潟地方気象台が共同で発表し、新潟県機関を經由して関係市町村へ伝達され、水防活動や避難勧告の判断等に活用されます。

また、報道機関の協力を得て、テレビやラジオ等を通じて流域の住民へ伝達されます。